

# 百道浜小学校はユネスコスクールに認定されています

## 1. ユネスコスクールとは

ユネスコスクールとは、1953年に「ASPnet (Associated Schools Project Network)」として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するために発足しました。

簡単に言うと、ユネスコの理念を普及・実現することを目的に、世界中の小中学校・一部大学で形成されたネットワーク「ASPnet」に参加することを認められた学校、ということです。

世界では181ヶ国、約10000校が、国内では1034校が認定されています。  
(2017年12月現在)

本校は、2014年2月27日に、ユネスコスクールに認定されています。福岡市の小学校としては、唯一のユネスコスクールです。

(ユネスコスクール認定証)

## 2. ユネスコスクールにおける実践とは

ユネスコスクールにおける実践とは、「持続可能な開発のための教育 (ESD: Education for Sustainable Development)」を実現するための教育です。

これは、私たちとその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学びです。ESDは、持続可能な社会の担い手を育む教育です。

ESDの実践に特に必要な観点は、以下の2点です。

- ・ 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと
- ・ 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと

そのため、環境教育、国際理解教育等の持続可能な発展に関する諸問題に対応する個別の分野にとどまらず、環境、経済、社会の各側面から取り組んでいくことが重要となります。

(ESDとは)

この、ESDを意識しながら、各学校の実態に応じた実践に取り組んでいきます。

### 3. 本校における実践

本校には外国籍の児童や、保護者の方が外国人であるご家庭も少なくありません。また、近隣にインターナショナルスクールがあります。さらに本校区は、福岡市のランドマーク的な地域であり、外国人観光客も多数訪れています。

そのような地域の特性のもと、本校では「世界を視野に未来に挑む」を活動テーマとし、仲間と共に持続可能な社会の担い手となる、国際感覚豊かな子どもの育成を目指しています。ESDの理念は本校の活動テーマとも非常に合致しています。そこで、生活科や総合学習の時間を中心に、ESDの学習を進めています。

具体的には、

- ・国際理解教育（3年・6年総合学習）
- ・環境問題に係わる活動（4年・5年総合学習）
- ・伝統文化に係わる活動（1年・2年生活科、5年・6年総合学習）
- ・福祉に係わる活動（4年総合学習）

などの実践を、これまでに行ってきました。

また、本校では全学年において児童のコミュニケーション能力の向上を図るため、対話活動を取り入れたが工夫の在り方にも力を入れています。

今後もESDを意識しながら、そしてユネスコスクールのネットワークを活用しつつ、さらに充実したESDの教育を進めていきたいと考えています。